

**【公 表】事業所における自己評価総括表**

|            |                            |     |      |     |
|------------|----------------------------|-----|------|-----|
| 事業所名       | 児童ルームたちっキッズ永岡              |     |      |     |
| 保護者評価実施期間  | 令和 7年 9月 1日 ～ 令和 7年 9月 30日 |     |      |     |
| 保護者評価有効回答数 | 対象者数                       | 29名 | 回答者数 | 26名 |
| 従業者評価実施期間  | 令和 7年 9月 1日 ～ 令和 7年 9月 30日 |     |      |     |
| 従業者評価有効回答数 | 対象者数                       | 7名  | 回答者数 | 7名  |
| 総括表作成日     | 令和 7年 11月 1日               |     |      |     |

○分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・拡充を図ることが期待されること                 | 工夫していることや意識的に<br>行っている取組等                              | さらに充実を図るための取組等                                |
|---|--|--|---|
| 1 | ・経験豊富な専門職が従事している。  | ・常に療育の質が落ちないように、保育士や児童指導員、言語聴覚士などを可能な限り配置するなど、工夫をしている。 | ・積極的に会議や研修等を実践し、より専門性のある支援が提供できるよう体制を整えていきたい。 |
| 2 | ・一人一人の習熟度に合わせた療育支援を行っている。                                  | ・聴覚・ビジョントレーニング等の療育プログラムを習熟度別で実施し、よりきめ細かな支援を行っている。      | ・保護者へ分かりやすい説明を心がけ、また定期的にお伝えができるよう、工夫していく。     |
| 3 | ・職員間で積極的に情報共有し、子どもと保護者のニーズや課題に対して、こどもの特性を理解しながら、日々取り組んでいる。 | ・季節に合った行事を取り入れ、また活動を通して、日常生活での動作の習得や集団生活への適応に向けた支援を行う。 | ・学校通常日でも可能な限り取り入れながら、様々な経験を通して成長できるよう心がけていく。  |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組みや<br>工夫が必要な点等                            |
|---|--|--|--|
| 1 | ・地域の子どもと活動する機会が不十分である。                     | ・地域施設を活用する機会はこれまでよりも増えてきているものの、利用者の安全確保や交流先での事故防止の観点などにより、参加が難しい状況である。 | ・今後も地域施設や公共機関等と連携し、地域交流の機会や経験が制限されないよう、積極的に交流を図っていく。 |
| 2 | ・きょうだい向けの交流の機会が少ない。                        | ・保護者交流会を実施し、利用者・保護者同士の交流機会を設けているところであるが、きょうだい向けに事業所側から発信する機会が少ない。      | ・今後実施するにあたり、事業所側が保護者交流会などを活用し、その機会を検討していく。           |
| 3 | ・療育スペースが十分に確保できないことがある。                    | ・利用者の高学年化が進んでおり、利用状況によって異なる事もあるが、運動内容によっては、狭いと感じることがある。                | ・構造的な問題である為、状況に応じグループ分けを行うなど、スペースの有効活用を心掛けていく。       |